



4 2023

発行所 大阪市中央区玉造2-24-22 カトリック大阪大司教区 広報委員会 郵便番号 540-0004 TEL (06) 6941-9700(代表) TEL (06) 6946-3223(直通) FAX (06) 6946-3224(直通) E-mail: jho@osaka.catholic.jp 編集 広報委員会 発行人 前田万葉

本紙「点訳版」「音訳」があります。〈無料〉 ※ご希望の場合は「点訳版(点字本)」下記まで申込み 時報 ☎06-6946-3223(直通) ☎06-6946-3224(直通) 「音訳(テープ・デジ)」 山口さん ☎0798-34-4228

- ☆ 司祭叙階ダイヤモンド・金祝 (2画) ☆ キリスト教一致祈禱週間 ☆ 墓地・納骨所名称変更 (4画) ☆ 春の司祭司牧者人事異動第1次 (3画) ☆ ラジオ「信仰の時間」松浦謙神父 (5画) ☆ 青年のための錬成会 (4画) ☆ イエスにならう生き方を求めて (6画) ☆ 生きる―難民移住者 (7画) 広報委員会へのEメールアドレス=jho@osaka.catholic.jp

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。

福者ユスト高山右近殉教者列聖祈願のつどい・ミサ

# いま、右近の続きを 生きるために

## 聖香油ミサ

4月5日(水)午前11時

司式 前田万葉大司教

大阪カテドラル 聖マリア大聖堂

☆司祭 ダイヤモンド・金祝のお祝いも行われます。



列聖運動に必要な条件とは。講師の平林冬樹神父(イエズス会) 日本カトリック司教協議会 列聖推進委員会秘書

2023年2月4日大阪カテドラル聖マリア大聖堂で「福者ユスト高山右近殉教者列聖祈願のつどい・ミサ」が開催された。つどいには豊能町・高山右近顕彰会から5人の来賓を迎え、ミサには約150人が参加し祈りをささげた。

### 第一部 列聖祈願のつどい

つどいは前田万葉大司教の開会の辞で始まり、第一部、平林冬樹神父の講演は、「奮い立て、右近のように」と題して話しを伺った。列聖運動は、1、右近の素晴らしい徳を顕彰する。2、殉教をたたえる。3、確かな取り次ぎの祈り、という3つの条件が必要と説かれた。

続けて平林神父は阪神・淡路大震災を体験した大阪教区の「新生計画」は、右近が、その時代に大阪教区の地域で取り組んだ内容がルーツとなっており、右近の中にたぎる熱い血は脈々と、今受け継がれ流れている。「神はあらゆる苦難に際して私たちに慰めてくださいます。奮い立って、この困難を克服しましょう」と話された。(文 右近とともに歩む会)

### 第二部 列聖祈願ミサ

列聖祈願ミサは、前田万葉大司教司式によって捧げられた。説教は、『致命祭 右近の続き 生きるため』と俳句で始まり「へり

「わたしは、昨年8月末にローマ教皇庁の列聖省に右近列聖のお願いに参りました。列聖省長官であられるマルチェッロ・セメラーロ枢機卿さまは、直々に応対してください。2025年は25年に1回の聖年であり、テーマを希望の巡礼と銘打ち、何人かの列聖をローマで行うことになっている。福者ユスト高山右近

しによる奇跡を祈って欲しいという事です」と語り、右近のとりなしを祈るよう呼びかけた。私たちがこの呼びかけに答え、個人で、小グループで、また小教区で右近のとりなしによる奇跡を願い求めましょう。(文 列聖推進委員会 委員長 春名昌哉)



祭壇に向かって酒井補佐司教(左側)・前田大司教(中央)・平林神父(右側)

くだって、十字架の死に至るまで従順(フイリッピ2章)であったキリストに倣って、生きた右近の道は列聖につながっている。は有力な候補者だから、ぜひ奇跡調査を早く出してください。との励ましをいただきました。具体的には列聖に必要な右近の取りな

大阪教区のカトリック病院 **ガラシア病院** 特徴的な医療 ホスピス(緩和ケア) リハビリ・神経内科 肝臓内科・循環器内科 医療法人ガラシア会 理事長 前田万葉 大司教 チャプレン 松本信愛 神父 〒562-8567 箕面市粟生間谷西 6-14-1 ☎072-729-2345

有償ボランティア 事務局員募集 求 詳しくは ホームページ をご覧ください。 https://yurikago.site 理事長 人見 滋樹 (元カトリック医師会会長) 認定NPO法人 こうのつりのゆりかご in 関西

ひとりで悩まないで ~私たちに聴かせてください~ カトリック大阪大司教区 **ハラスメント相談窓口** ※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。 電話番号:06-6941-9718 相談窓口受付時間 月・火・金曜日(祝日を除く) 午前10時~午後4時 あなたの悩みを親身になって受け止めます。 秘密は必ず守られます。

株式会社 ガラシア WINGS サービス付き高齢者住宅 **ドムス ガラシア** 「ドムス ガラシア」の看護師、介護職資格のある信徒の職員、また併設する「ガラシア園田クリニック」の医師、看護師を募集しております。ご協力をお願い申し上げます。 ☎ 06-4960-8020 担当 濱口、Sr 川水

# 司祭叙階ダイヤモンド・金祝

## おめでとうございませす

### ダイヤモンド祝 (60周年)



デウィルデ ミシェル神父 (淳心会)

1938年11月7日、ベルギー生まれ。63年8月4日司祭叙階。64年来日。来日後、藤井寺教会にて助任を務める。その後、主に広島教区で司牧し、73年には医療の道へ進み、91年まで看護師として医療に携わる。91年からカトリック岡山

檣灯センターの所長に就任し、障がいを持つ人びとの作業所を長年に渡り運営し、2019年より仁豊野レジデンスにて静養。侍者を小さな頃からして、その影響を受け、宣教師を目指したいと思っていました。また神を知らない人たちに神を知るチャンスを与える人になりたいと思っていました。看護の道を目指したのも、言葉以上に自分の体を動かして関わり、病気の人や看護を通して宣教をしたいと思ったからで、技術よりも精神的なケアに努め、その経験は私の宣教生活をより豊かなものにしてくれました。

### ダイヤモンド祝 (60周年)



マンニ・ピエル・ジョルジョ神父 (ザベリオ宣教会)

1940年11月9日イタリア生まれ。1963年10月13日司祭叙階。高校までは教区司祭になろうと思いましたが、アジアで働く宣教師の感動的な話を聞いて、彼と同じ道を歩もうと思ひ、ザベリオ会に入会しました。

司祭叙階後日本に派遣され、1964年9月25日、第一回東京オリンピック開催直前に来日しました。神戸で日本語習得コース終了後、泉野野教会に派遣され、徐々に大阪教区の諸活動にかかわり、貴重な経験を体験しました。当時、長崎県から泉野野に移住してきた信者家族と青年が多く、素朴な生活、熱心な信仰や温かい性格に触れ、大好きな仲間となりました。その時から大阪教区内の小教区、幼稚園やザベリオ会の本部等で働かせていただき、心は感謝でいっぱいです。これからの日々を神さまのいつくしみにお任せします。

### 金祝 (50周年)



ヨセフレナトゥス 笹野克志神父 (オプス・デイ)

1938年9月6日ブラジル生まれ。1973年8月5日叙階。神様との出会い。大学一回生の時に、オプス・デイのメンバーの同僚に、司祭の話の聞きに

来ないかと誘われました。司祭の話と聞いて、断りました。でもその友人は6カ月間、毎週私を誘ってくれました。毎週断りました。神様の働きは不思議ですね。当時、仲の良い友人が熱心なプロテスタント信者だったので、ある日、彼に宗教について教えてくれと頼みました。すると、彼は自分にはその資格がないので、司祭か牧師さんをお願いして見たらどうだと言いました。その時、またオプス・デイの同僚が私を誘ってくれました。その後、毎週司祭の話の聞き、主イエスに出会い、洗礼を受けました。10年後叙階を受けました。それから50年が経ちました。全て神様の御導きです。神様に感謝!

### 金祝 (50周年)



リチャード・サーティック神父 (大阪教区)

1942年9月10日、アメリカ合衆国生まれ。1966年、シカゴの御受難修道会に入会。73年司祭叙階後来日。79年、兵庫県宝塚市に移動。黙想指導に専念する傍ら、ハンディキャップを持つ人、病人のための黙想会にも赴き、「マザーテレサ共労者会」などにも参加する。87年、

御受難会を退会し、大阪教区司祭となる。同年京都府の山奥の廃村を開墾し、「真理庵の郷(祈りと労働と憩いの村)」を開村する。京都府丹波町(現在の京丹後市)に居住を移す。1990年、「真理庵の郷(祈りと労働と憩いの村)」を開村し、2020年に閉村するまでの30年間を当地で過ごす。現在は心臓ペースメーカーと、酸素ボンベ装着の生活だが、感謝と祈りのうちに、療養中。

### 金祝 (50周年)



ハインリッヒ 中野正勝神父 (大阪教区)

1944年2月29日兵庫県生まれ。1973年4月7日ドイツで司祭叙階。召命と叙階を何よりも喜んでくれた亡き母の愛と真心。洗礼の神父様。大神学校の哲学修了後、留学したフランクフルトのイエズス会の聖ゲオルグ哲学神学大学(神学校)の院長神父様と同僚神学生たち。その教区のリンブルク司教座教会主任神父様と賄さん。アメリカ

カの恩人等々。どれだけ多くの方々の真心に支えられて司祭叙階されたことか。その後、田口芳五郎枢機卿様のご意向で、ローマの神学大学院へ再び留学(神学博士)。司祭としてヴァチカンを体験。帰国後は、英知大学で(学長も引き受け)組織神学を教えながら教会の主任司祭として司牧。更に博士論文で扱った『啓示された三位一体なる神の日本的理解への一試論』を反映させた関目教会の新築と献堂。所で今迄の赴任教会は園田・大阪田辺・関目・箕面・芦屋・豊中教会で、現在は平野教会協力司祭ですが、それぞれの教会での皆様との心の籠った沢山の楽しい思い出を有難うございました。

### 金祝 (50周年)



セバスチアン 藤原直達神父 (大阪教区)

1944年11月30日大阪生まれ。1973年10月28日司祭叙階。東京カトリック神学院(養成担当者)からはじまり、阿倍野・関目教会・幼きイエス信愛修道院(現シヨファイユの幼きイエズス修道会)付・トラピスチヌ西宮の聖母修道院付・布施・浜寺・千里ニユ

1タウン教会。1994年以降は心のいやし自助グループ・内観黙想の普及。2018年以降トラピスチヌ西宮の聖母修道院付。50年前のカテドラルでの司祭叙階式の体験が、全ての原点です。田口芳五郎大司教様は聖香油を私の手にグイグイと念入りに塗油なさいました。その時、罪に汚れた私の手が聖体を捧げる聖なる手に聖変化された時、急に何とも言えない大きな感動に襲われ、その場で嗚咽が始まりました。その後、その後も相変わらずの傲慢で罪深い人間として過ごして来ましたが、50年間の特別な召命を思い出して参りました。神に感謝です。

### 金祝 (50周年)



ハイメ・シスネロス神父 (クラレチアン宣教会)

1947年1月16日メキシコ生まれ。1973年6月29日司祭叙階。『人の救い』のため神父になろうと望んで、12歳に小神学校に入り、12歳の時の夢が実現して、73年6月29日司祭叙階を受けました。最初、自分が生まれた国メキシコで、司祭の奉仕を3年間過ごした後、日本に派遣されました。東京都で日本語を学んで、日本の文化、日本の教会に出会い、50年となりました。大したコミットをしていますが、仲間や信徒によって支えられてきたような気がします。感謝と喜びで一杯です。

今の自分の司祭像に感じる課題は、信仰と生活の霊性、宣教と社会問題を取り組む知恵と力を願ひ求めることです。趣味は野外活動、特に散歩。静かに聖句を祈る、祈りの分かち合い。どうかわたしのため祈ってください。

経歴とコメントはご本人からいただきました。





カトリック大阪大司教区・日本福音ルーテル教会  
・日本聖公会・日本基督教団による共同礼拝

## 2023年キリスト教一致祈禱週間「共同礼拝」 善を行い、正義を求めなさい (イザヤ書1章17節)

6年連続で1月18日～25日まで、カトリック大阪大司教区は「キリスト教一致祈禱週間」を迎え、3つのエキュメニカル共同礼拝を開催した。

1月20日に神戸の住吉教会、21日に和歌山紀北教会の屋形町聖堂、そして聖パウロの回心の祝日である25日には、大阪カテドラル聖マリア大聖堂でそれぞれ行われた。例年通り、前田万葉大司教(大阪礼拝)、酒井俊弘補佐司教(神戸・和歌山礼拝)の参加により、教区のカトリック教会の一致を示す、まさに教区的な行事となった。各礼拝の参加者は予想以上に多く、約170人が参

加した。周知されているキリスト教一致祈禱週間は、世界の一つの地域の諸教会に順番に作成された、同じ資料を基に世界中で祝われ、今年は、アメリカ・ミネソタ州の諸教会が作成した。テーマは、「預言者イザヤ書1章17節「善を行い、正義を求めなさい」から引用された。

大阪大司教区それぞれの礼拝が、地元のカトリック教区司祭、その地域にある他の教会牧師、教区エキュメニズム委員会の委員長からなるチームによって準備され、関係する教会、特に開催地教会の信者の協力によって実現される。礼拝だけでなく、その準備もまた、キリスト教的一致の実践である。



左から和歌山紀北教会・住吉教会。玉造教会各聖堂での共同礼拝

大阪大司教区それぞれの礼拝が、地元のカトリック教区司祭、その地域にある他の教会牧師、教区エキュメニズム委員会の委員長からなるチームによって準備され、関係する教会、特に開催地教会の信者の協力によって実現される。礼拝だけでなく、その準備もまた、キリスト教的一致の実践である。

少すると、共同体は内部の問題やニーズに集中し、内向きの教会になるように誘惑される。これはキリストの心に反している。エキュメニズムのための働きは、この誘惑を避けるのを助けることができる。それは、異なる伝統に従う信者を歓迎するために、心と視野を広げることが不可欠であるから、その結果我々は、主イエスの望まれる外向きの教会になる。

カトリック教会による  
エキュメニズムのあり方

## 2023年春司祭・司牧者 人事異動(第一次)

2023年2月1日

教区の皆さま



大司教 前田 万葉

キリストの平和

2023年春の司祭・司牧者人事異動を発表いたします。それぞれの任地に派遣される神父様方、どうぞよろしくお願いいたします。教区外へ異動される司祭・修道者の皆様には、これまで大阪教区のために献身的にお働き下さったことに心からお礼を申し上げます。

異動は別紙のとおりです。姫路地区から順に地区単位で記載しています。異動の時期についてですが、昨年同様、原則として復活節第2主日4月16日(日)からの一週間内に移っていただき、4月23日(日)より正式に新しい教会に着任するようにしてください。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、異動される皆様も留任される皆様も、ともに福音の喜びを人々に伝える働きをしていただきますよう、心からお願いいたします。

以上

\*以下、新任地。カッコ( )内は前任地など、Bはブロックの意

### 【姫路地区】

加古川〈姫路東B〉主任代行  
▶ Fr.レネ・バシト・カンデラリア C.I.C.M.(姫路地区協力)

### 【神戸地区】

神戸東B共同  
▶ Fr.ブイガ・ブレイズ C.I.C.M.(姫路地区協力)  
▶ Fr.金台根(日本語研修・神戸東B協力)

### 【阪神地区】

夙川〈阪神夙川B〉主任  
▶ Fr.ダニエル李昇倫(夙川・甲子園〈阪神夙川B〉共同・モデラートル)  
甲子園〈阪神夙川B〉主任  
▶ Fr.アマド・カバレロ III C.M.(教区外)  
武庫之荘〈阪神尼崎B〉主任  
▶ Fr.エマヌエル・ポポン M.E.P.(夙川・甲子園〈阪神夙川B〉共同)

### 【北摂地区】

吹田〈北摂東B〉助任  
▶ 下瀬智久 助祭 C.Ss.R.C.(3月21日司祭叙階予定)

### 【大阪北地区】

香里〈河北B〉主任・豊岡小教区管理者  
▶ Fr.赤波江豊(神戸東B共同・豊岡小教区管理者)  
枚方〈河北B〉主任  
▶ Fr.竹延真治 C.M.F.(しろきたB共同)  
枚方〈河北B〉助任  
▶ Fr.梅崎隆一 C.M.F.(枚方〈河北B〉協力) →

### しろきたB共同

▶ Fr.トラン・サン・ニューイ C.M.F.(香里〈河北B〉助任)  
Fr.ユン・サン・ホ C.M.F.(教区外)

### しろきたB協力

▶ Fr.ハイメ・シスネロス C.M.F.(しろきたB共同)  
しろきたB共同・モデラートル

### ▶ Fr.長崎壮 C.M.F.(枚方〈河北B〉主任)

### 【大阪南地区】

玉造〈玉造B〉助任  
▶ Fr.ポルメント・セサル(日本語研修・玉造〈玉造B〉協力)

### 堺B協力

▶ Sr.チャン・ティ・フエ(聖母奉献修道会修道院)

### 【和歌山地区】

和歌山紀北〈紀北B〉共同・モデラートル  
▶ Fr.ヘスス・マリア・モラレス S.X.(武庫之荘〈阪神尼崎B〉主任)

### 【その他】

#### 淳心会本部

▶ Fr.アルマンド・ロメロ C.I.C.M.(加古川〈姫路東B〉主任)  
▶ Fr.ジェローム・パダモ・サルトル C.I.C.M.(神戸中央〈神戸東B〉協力)

#### 聖母奉献修道会修道院

▶ Sr.ファム・ティ・テウイ・キョウ(堺B協力)  
教区外  
▶ Fr.ゲン・バン・ナン C.M.F.(しろきたB共同)  
▶ Fr.昌川信雄 C.M.F.(香里〈河北B〉主任)  
▶ Fr.パウロ・セコ(紀北B共同)



光いっぱいテゼの祈り

青年のための錬成会

# 本来の教会の姿へ

1月28・29日の週末、枚方クラレチアン・レジデンスで、青年有志が「私とあなたの我が家」というテーマで、青年のための錬成会を開催。青少年司牧委員会後援。13人の青年たちが参加し、分かち合い・テゼ・あそび・ミサのプログラムをとおして、教会の信仰の原点と向き合った。青年たちの生の声を届けたい。

この錬成会を開きたいと思いついたのは、近年のコロナ禍の日常がまるで当たり前のようになり、教会に行くこと、皆と集うことも制限される日々に、違和感と危機感を感じたことが始まりだった。今の青年たちにとって、「教会」という存在はどのようなものであるのか？ コロナ禍前、私たちが教会でどのように愛され、どのような人と出会い、どのような体験を通して信仰が生まれ、今の自分があるのか？ こうしたことを思い起こし、原点に戻り、分かち合う時間が必要だと思っていた。コロナ禍で一度途絶えてしまったからこそ、これからのどう繋げていくかを考えるきっかけを作りたいという思いで企画した。

同じ空間で祈る久しぶりの形に懐かしさを感じつつ、まるで大家族で祈っているような楽しさも感じられた。本来の「教会」とはリモートでもなく、1人だけで行動し祈るのではなく、共に祈り、共に考え、共に集うこと。そこから派遣され、また帰ってくる場所。教会のあるべき姿の一部が今まさにここにあると感じた。



鍋を囲んでパチリ☆

### 主催者としての気づき

時代や世代が変わるとともに、物事を進める方法や見え方も変わってくる。しかし、その中でも変わらないこと、変えてはいけないこと、これだけは守り抜いていきたいことがある。さまざまな方向性や可能性が見えてくるとともに、難しさや違いも少しずつ分かってきたように思う。

### 参加者の感想

かもしれない。今私たちにできることは何か？ 時代も世の中も変わってきているからこそ、これからの教会活動は、子どもや青年、大人関係なく助け合うことができたいと思う。それが教会だけにどまらず、広がっていくといいなと思う。皆で一緒に前へ進むこと。確実に。でも、焦らずにゆっくりと。

直接いろいろな人と話す機会が少なくなっていたため、「分かち合い」をメインにプログラムを作った。少人数で繰り返すことで、今まで感じていたこと・普段は思っていない話さなことを真剣に話し合ういきいきとした姿がたくさん見られた。また、夜のテゼの時間で、一日の活動を共にした仲間と

今回企画させていただいた私自身を含め、参加者が見えたことにきつと違いはあるだろうが、そこに教会があり神様がいらっしゃるだけとは変わらないと感じている。それは目に見えないものかもしれないが、それこそが私たちが結ぶ大きなものであり、「信仰」なの

コロナ禍で教会行事がなくなつて寂しい気持ちだったが、今回のイベントに参加して日常を取り戻せた感覚。分かち合いをすることで今の自分が神様についてどう考えているのか、自分と向き合うことができて、とても良い二日間だった。(文) 青年のための錬成会 主催者 中村花菜美 (今市教会)

## 教区納骨所に関するお知らせ



### 納骨堂・共同納骨所の名称変更

- カトリック聖マリア大聖堂納骨堂  
《旧 大阪カテドラル聖マリア大聖堂納骨堂》
- カトリック甲山共同納骨所  
《旧 カトリック甲山墓園納骨所(甲山墓園内)》
- カトリック舞子共同納骨所  
《旧 舞子墓園カトリック納骨所(舞子墓園内)》
- カトリックとべら共同納骨所  
《旧 とべら墓地カトリック納骨所(鶴越墓園内)》
- カトリック阿倍野共同納骨所  
《旧 大阪カトリック墓地・納骨所 (大阪市設南霊園内)》
- カトリック和歌山共同納骨所  
※変更なし(五色台メモリアルパーク内)
- カトリック泉佐野共同納骨所  
※2023年4月受付開始

### カトリック舞子共同納骨所・とべら共同納骨所 新使用料およびプレート変更

1. 新使用料  
現行の2万円(非課税)を2023年6月より5万円(非課税)に変更。

舞子・とべら共同納骨所の使用料は、教区が管理する他の共同納骨所と一律同額に変更されます。

※5月31日までに本部事務局へ利用申込書類の提出とお振込完了の場合は、現行の2万円でお受けします。

2. プレートのサイズ変更  
従来の大判プレートから小判プレートに変更。他の共同納骨所と同様サイズになります。小判プレートにはお一人様分しか記載できませんが、ご家族複数名が同時に使用申込みを行うことでプレートを横並びで設置できます。(生前予約も可能)

3. 納骨式の日程  
納骨は原則、毎年11月第一日曜日に開催される神戸地区合同追悼祭と同日に実施される合同納骨式に限定。所属教会の司祭に個別の納骨式を直接相談し、司式をお受けいただいた場合は別日で納骨可能です。

4. 神戸地区合同追悼祭案内の郵便通知の中止  
2023年度以降、郵便による神戸地区合同追悼祭の案内を中止いたします。

原則、「毎年11月第一日曜日14時に開式」となります。毎年10月以降に墓地納骨堂サイトのお知らせに掲載します。または管理課にお問い合わせください。今後は全ての共同納骨所追悼祭の郵便通知を中止する予定です。

### 5. 舞子墓園および鶴越墓園とべら墓地のご遺骨預かりについて

神戸地区墓地のご遺骨預かりは2019年10月1日までに受付を中止し、預かり期間は終了しています。まだ、ご遺骨をお引き取りいただいていない方は、お引き取りをお願いいたします。舞子墓園でお預かりさせていただいたご遺骨は、改修工事に伴いカテドラル納骨堂に移し、仮安置しています。ご遺骨引き取りは、本部事務局管理課まで事前に連絡し、日程調整をお願いいたします。

※以上、詳細は4月から配布する新案内や教区墓地・納骨堂サイトのお知らせでご確認ください。管理課にお問い合わせいただければ、案内は従来通り郵送でお送りします。

### カトリック阿倍野共同納骨所の墓参案内中止

2023年度以降、郵便による阿倍野共同納骨所の墓参案内を中止いたします。原則、「毎年11月3日14時に開式」となります。毎年10月以降に墓地納骨堂サイトのお知らせに掲載します。今後は全ての共同納骨所追悼祭の郵便通知を中止する予定です。

【問い合わせ先】  
教区本部事務局 管理課  
☎06-6941-9705 (平日：9～16時)

和歌山紀北教会堅信式

天の父のように



2月19(日)10時過ぎ、和歌山紀北教会で酒井俊弘司教の主司式のもと、12人が堅信の秘跡を受けた。当日200人の信者が集い、中学2年生から年配まで幅広い年齢層の共同体仲間の門出を祝った。

酒井司教はミサ説教で、第一朗読(レビ19・1-2、17-18)と福音朗読(マタイ5・38-48)で読まれた「……なりなさい」との神からの強い勧めについて「天の父のような完全な者になれるか？」をテーマに話された。完全無欠である

堅信式に向けて、大人の受聖者たちは『カトリック教会のカテキズム』と聖書を、日頃教会で行われている聖書勉強会のメンバーたちとともに学んできた。中高生の受聖者たちは、自分の洗礼名について調べたり、大人になってどんなことに取り組んでいきたいのかなどを考えたり、中高生グループの皆と学んだ。

主催者の感想

堅信の準備期間は受聖者にとっても、一緒に学んだ皆にとっても良い学びの機会になったと思います。こ

受聖者の感想

雨模様でしたが、受聖者には子どもたちが多くて、明るい気持ちで臨めました。私たちが夫婦は実年齢では高齢者ですが、信仰においては幼い者で、少しは大人に近づけるのかなと思えました。神様のみことばを味わいながら、聖霊を願い、認識できるように過ごして



使徒たちと同じ人数の12人の受聖者

いきたいと思います。偶然ではない神様の恵みに感謝いたします。



司牧者がリレー形式で若者たちにぜひ読んでほしい書籍を紹介し、青年たちの読書感想文を掲載する連載。今回は、パウロ・セコ神父様(和歌山紀北教会)が担当。

パウロ・セコ神父からこの一冊



『読むだけで人間力が高まる100話』(モラロジー道徳教育財団「ニューモラル」仕

事と生き方研究会著 2022年、税込1210円)

私は復活祭後にしばらくの間、スペインに帰ります(3年間の予定)、行く前に皆さんにこの本を紹介したいと思います。コロナ禍になり、一堂に集うことが困難になり、人と人とのつながりが希薄になって3年になります。一日も早くイエス様を中心に人びとがつながりを深めて空白の時間を埋められたらと願います。聖書のみ言葉(イエス様の良い知らせ)をどのように生かして実践していくかを考えたとき、この本がヒントになるのではないかと思います。道徳教育財団から出版されているので、皆さんの中には宗教と道徳は別物でしようと思われる人もいます。この本を勧めませんが……理由には、教皇フランシスコが2022年11月30日の一般謁見演説「10. 真の慰め」で「日々、良心の究明

を行うことがとても大切」と言われたことにあります。では、どのように良心の究明をしたらいいのか? この本には「自分の心を謙虚に見つめ直し、起きたことに気づき、心は成長できたかを確認する。そしてそれを習慣づけていく」とあります。究明はマイナスのことに目を向けがちですが、ありのままの自分を謙虚に認め、失敗した時に、ずっと悩まないで、その失敗から立ち上がって、やり直すことはとても大切です。究明し、自分を良くする決心をし、歩み出していく。このことが普段の生活でできるなら、良い時も悪い時も日々、新たな気持ちで出発でき、心も成長するのだと思います。

2つ目の理由は、聖パウロのテサロニケの信徒への第一の手紙5章16-18節「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」が

の内容は次のようなものでした。

パスカルは、デカルトと同じように人間の有限性を取り上げることから出発する。パスカルによれば、人にはいのちへの欲求がある。真の幸福とはその欲求が満たされる状態である。にもかかわらず生きている限り、それは満たされることはない。なぜなら人間が不幸にも罪を犯したからだ。しかしながら永遠の幸福の記憶が人間に残されている。だから人間はこれをこそ、一時的でなくいつまでも求め続ける。愛である神は、その望みを必ずかなえるであろう。

がんの末期だった父の内には、生きたいという望みがありました。それは永遠のいのちへのあこがれであったと思います。父は言いました。「いのちへの望みは、パスカルがいうように、愛そのものである神自身が、我々人間の心に刻み与えたものです。だからその望みは必ずかなえられるのです」

それを聞きながらわたしは、なぜ父がデカルトと同時にパスカルを熱心に研究したか、なんとなく理解できた気がしました。父は講義を終えるとともに疲れた様子で「もう十分だね」と言いました。その約1か月後、父は亡くなりました。

父の好きだった詩のひとつがオーストリアの詩人リルケの「秋」です。父は自らの著書「望郷の詩」(1993年新世社)で紹介しています。

木の葉落つ／遠くより散りくるごとく／み空の園の枯れしごとくに／はらはらと舞い落ちきたる／小夜ふかく なべて星より／重き土 寂寥にむかいて 落つ／われらみな落つ。これの手もま

た落つ／見よ、他のものを。なべてのものに落下あり／されど ひとりの人ありて この落下をかぎりなく／やさしく そのみ手に 支えたもう。(星野慎一訳)

父は枯れて落ちていく木の葉に今の自分を重ね合わせたのかもしれませんが。わたしたちのいのちを最終的にやさしく慈しみ深く受け止めてくださる神がおられる。これこそ父が信じ続けたことです。わたしもこの信仰を父から受け継ぎました。永遠のいのちへの希望が人生の根底にあります。それは、神様がわたしたちに与えてくださる恵みの光なのです。

【お知らせ】

ラジオ局の手違いにより2/26に流されなかった松浦神父の話は4/30に放送されます。

毎週日曜日5:50~6:00AM放送  
4月担当:大久保 武神父  
ABCラジオ(朝日放送)AM1008/FM93.3  
スマホアプリのradikoでも聴けます。

ラジオ 信仰の時間

父の思い出 (2月12日放送分)

松浦 謙(みなとブロック)

南山大学の教授だったわたしの父、松浦一郎は、近世ヨーロッパの哲学思想を専門に研究していました。

父は、理性を通して、神の存在を証明しようと努めました。わたしは、中学生のころ、なぜ神がいると証明できるか父から説明してもらった記憶があります。その一つが哲学者デカルトの神存在の証明でした。それは次のようなものです。

そもそも人間は、疑う存在である。つまり、自分が不完全で、限界があるということを知っている。そのような自覚があるのは、自分の中にある無限な者、すなわち「神」の観念がもともと備わっているからだ。ではそれはどこから与えられたのか? それは無限な存在者である神から来たとしかしいようがない。だから神は確かに存在する。

それを聞いても、わたしは正直いって、良く分かりませんでした。

退職後父はがんを患いました。かつての教え子たちが集まって父の話を聞く会が開かれたので、わたしは、母と兄と一緒に、聞きに行きました。この時父は、かなり弱っていましたがパスカルの「幸福論」について語ってくれました。おおよそ



### イエスにならう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、その悩みを少しでも分かち合うことのできる教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」増補新版より

# 平和を目指してともに歩もう

「剣を取る者は皆、剣で滅びる」(マタイ 26:52) イエス様に倣って、暴力に打ち勝ちながら平和を目指してともに歩むために、この一年間、ゆるしと対話を大切にしていきたいと思います。

社会福音化部部門長 酒井俊弘補佐司教



少しずつ、教会活動が再開されています。各地区で開催された学習会や講演会などの様子をご紹介します

## 学習会

### 大阪北地区社会活動委員会 学習会

カトリック門真教会 小野幸治

12月定例会時に、カトリック今市教会信徒で、92歳になられた今でも元気に信仰生活に奉仕・活躍されている三島克己さんを講師にお招きし、学習会を行いました。戦前・戦中・戦後の激動時代を体験された三島さんのお話から、戦争のもたらす悲惨さと平和の尊さ等を学びました。講演内容は二つに分かれ、前半は戦前日本の戦争に至った歴史的事実が、後半はキリスト教の信仰に導かれ時代を歩んだ体験が話されました。

前半の歴史的経過のなかでは、普段私たちがなかなか知ることの少ない、様々な歴史事実が詳細に語られ、「何故、そしてどのように」日本が破滅に向かう戦争に突き進んでいったのが説得的に語られました。「戦争の最初の犠牲者は「真実」だ」と言われます。過去の事実を、私達がしっかりとした歴史の記憶として留め置かなければ、「二度と過ちを繰り返さない」という決意も揺らぐこととなります。三島さんのお話で二つのことが強く印象に残りました。



当時の様子を語る三島克己さん(中央右)

一つ目はご祖父様が日露戦争に従軍し、二百三高地の戦いを経験されたことです。日清・日露戦争は戦前日本の輝かしい戦績として称賛され、軍部の誇りともなりました。しかし実際に戦闘に参加した人々は無残に殺され、戦友の屍を乗り越えて戦う悲惨さを痛感しました。「こんな戦争は絶対にしてはいけない」ことを、繰り返し祖父から聞いたという三島さんのお話からは、歴史の表面にあるものと深層の人々の思いとのギャップを感じました。

二つ目は、大阪空襲時一緒に逃げた学友が、焼夷弾の直撃を受けて死亡した1945年6月7日という日を深く胸に刻み、爾来この日を同窓会にしていたというお話です。戦争は多くの未来ある若人を死に追いやるといふこと、そのことを忘れまいとする姿勢は学ぶべきであり、こうした貴重なお話を聞くことができることに、口述歴史の尊さがあります。

後半は、三島さん自身の信仰との関りも含めて体験されたことが話されました。中卒で国鉄に運転手として就職されたものの、「行政機関の職員の定員に関する法律」により分限免職されてしまいます。乗務中、交代駅でない駅で交代運転手が乗ってきて、職場へ帰ったら、区長のところへ行ってくれと言われ、電車区では区長から分限免職辞令が渡されます。突然渡されたという分限免職通知書は、任命権者の名も記さず公印も押印しない、ただの紙切れであったという説明から、当時の政府の非人間性が伝わってきました。こうしたことは、当事者以外からは聞き得ない貴重な証言です。また新憲法制定を体験され「各国憲法は、その一つ前の政治体制・時代に対する厳しい怒り、痛恨の念の反省に伴って制定される」という言葉を紹介し、軽々しい改正論議に警鐘を鳴らしました。報告したいことは他に沢山ありますが、字数の関係から省略せざるを得ません。できれば当日学習会に三島さんが用意された資料に目を通すことだけでも、貴重な証言として受け止めることは可能です。今市教会に問い合わせれば、喜んでご提供頂けると思います。平和の語り部である三島さんの講義に参加できたことを主に感謝して、欄筆します。



「ワタシタチハ ニンゲンダ」上映会

## 講演会

シナピスコども基金  
こどもの権利を知るキャンペーン協賛

### 「在留資格のない外国ルーツの子ども達の生の声を聴き、未来を考える」

カトリック仁川教会 社会活動委員会

2月12日(日)、標記のテーマで講演会を開催し、約70名が参加。講師は、日本で生まれ育ちながら「在留資格」のない「仮放免」状態のMさん(大学3回生)と弟のSさん(大学1回生)、そして後見人のビスカルド篤子さん。「仮放免」というのは、一時的に収容を停止されている状況で、住民票がなく、仕事をすることも健康保険に入ることもできず、移動の自由もない等、基本的人権が全て奪われている状態のこと。

二人は圧政状態のペルーから日本に逃れてきた両親から生まれ、父親が入管に収容され、その後「仮放免」となり、ある日突然ペルーへ強制送還された体験を持つ。

Sさんは、父親を失ったショックと強制送還への恐怖や学校でのいじめで、将来への希望を失くし、学力も低下したが、真摯に向き合ってくれた担任の先生に出会い、志望高校に入ることができ、将来の「夢」も生まれた。「困っている人を支えられる教師になりたい」と教育学部に入學し、頑張っている。

就職活動中のMさんは、「故郷・日本で働き自立したい」と願いながら、「就職活動は許されても、就職は許されない現実」に苦しんでいる。しかし、多くの人に支えられていることを思い、「諦めずに、なりたい自分になれるように」歩き出している。

頑張っている彼らに“頑張ってください!”ではなく、人権に配慮できる社会にするために頑張らないといけないのは私たちが。

彼らが、故郷・日本で在留資格を取り、強制送還されないために!



Mさんのことばに耳を傾ける参加者

## 上映会

### 映画「ワタシタチハ ニンゲンダ！」

姫路教会 S.N

昨年、「社会活動委員のつどい」の後に上映された「ワタシタチハ ニンゲンダ！」という映画を観て、私たちの住んでいる平和な日本でこのような差別、迫害が実際に起こっているのかと、大きな衝撃を受けました。その時に自分が感じた思いや疑問、問題意識を多くの人にも知ってほしいとコロナウィルス感染の防止策を取りながらこの映画会を開催しました。

2月18日(土)13時〜姫路教会ザビエル館にて約50名の方が集まり映画を鑑賞し、上映後、短い時間でしたが分かち合いの時間をもちました。この問題について祈っていくことが大切である、という意見と共に祈りだけでなくアクションを起こしていくことが今、必要なことではないか。また私たちの行動が本人や関係する人たちの小さな心の支えになるのではないかと様々な感想、意見を聞くことが出来ました。最後に通常国会に再提出されている、出入国管理及び難民認定法等を改正する法律案の採択に反対し、廃案を求める署名運動を呼びかけていただき上映会を終わりました。

この映画を観た人たちが問題意識をもってそれぞれの場所でひろげていくこと、コロナのため活動が止まっていたけれどまた活動が動き出すきっかけになればと思います。

上映後多くの人には何か私たちにできる手助けはないかと思ったと思います。実際、姫路教会でも何か行動を起こしましょうと声をかけて下さる方がありました。

世界人権宣言は「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ尊厳と権利とについて平等である」とうたっていますが、果たして日本において外国人の人権はどれほど尊重されているのでしょうか。映画の最後に「私たちは動物ではない。私たちは人間だ!」と訴えていた映像が今も心に焼きついています。

※各報告の詳細はシナピスニュース4月号に掲載します。合わせてご覧ください。



# 「カテキズムの学び」

## 第40回 典礼と秘跡についての総論(前半)



2月のクラスがサクラ ファミリア4階で行われました。YouTube配信は上のQRコードから視聴できます。

七つの秘跡すべてにあてはまることの学びの箇所ですが、大切なポイントがいくつかありました。その一つは、秘跡を受ける主体は人間ではなくイエス・キリストであるということです。

秘跡が効力を持つのは、そこでキリストご自身が行動なさっておられるからです。洗礼を受け、諸秘跡の中で行動し、諸秘跡が表す恵みをお与えになるのは、キリストご自身なのです。(1127番)

それゆえ、秘跡の効果は授与者(通常は叙階された聖職者)の資質にまったく関係しません。

秘跡は「行為が正しく行われるということ自体で(ex opere operato)」効果を生む。……ある秘跡が教会の意向に従って行われるとき、キリストとその霊の力が、司式者の個人的聖性のいかにかわらず、秘跡の中で秘跡を通して働きます。(1128番)

たとえば、聖体の秘跡(エウカリスチア)の効果は、司式者が教皇様であれ、新司祭であれ、あるいは(残念なことに)罪人の司祭であれ、変わらないということです。もっとも、「諸秘跡の実りは秘跡を受ける者の心のあり方にもよる部分があります。」(同)

洗礼を受けた信者はすべて「共通祭司職」に与っていますから、典礼においてそれぞれの役割を果たすことで、キリストの神秘を共に祝います。

各自はそれぞれの役割に従いながら、すべての者のうちに働く霊と結ばれて、これを果たすのです。祭儀においては、司祭も信者も、各自が自分の役割を果たし、そのことからの性質と典礼上の規定によって、自己に属するところのみを、そしてそのすべてを行うべきです。(1144番)

また、典礼の素晴らしいところは、参加する者による外的しるし(歌、音楽、ことばと動作)の調和によって、信じる民全体の姿と神からの見えない恵みとを五感で感じられることです。今年の復活祭はぜひ一同で栄光の賛歌(グロリア)を歌いたいものです。

(文 酒井俊弘補佐司教)

# 「生きる」— 難民移住者

### 幸あれ、世界の女性たち

3月8日、私は名古屋入管にいました。イラン人女性に頼まれて難民調査に付き添っていたのです。女性や子どもは脆弱な難民申請者として特に配慮が必要です。私は部屋の外で待機し、休憩の度に本人の気持ちや求めを聞き、必要であれば担当に申し入れをしたり今後の調査日程などについて担当官とともに話合ったりします。

その日、私は階下の食堂で仕事をしながら女性が戻るのを待っていました。どこからか耳障りな大声が聞こえてきました。「タワケ、こんなにも書けんのか」と誰かを罵倒しているのです。食堂を見回すと、声の主は椅子に座って腕組みをし、そばで女性が中腰になつて書類に何かを書き込む姿が見えました。どうやら2人は夫婦で、入管に提出する書類を準備しているようでした。日本人らしき夫は、書類の束に口を開き、口する外国人妻に手も貸さ

ず、ガミガミ怒鳴り散らしています。



私はその夫を見ました。視線に気づいた男性は、私と目が合うと声の音量を落としました。「そこは電話番号じやろが、ハヨ書けハヨせい」その夫に言われた妻が「ハヨハヨ言わんで」と小声で言うと「何じやい喧嘩売る気か、このタワケが!」と夫はまた声を荒げました。

私は妻のそばに行こうと思ひ、広げていた書類を片付けました。振り返ると夫婦はすでに大部屋へ移動しカウンターの列に並んでいました。不躰に近づいたあの夫に殴られるか

も、との思いが頭をよぎりましたが、構わず私は夫婦に近づきました。驚いた男性は私と一瞬睨みあい、プイと顔を逸らしました。その時、入管の案内人が夫婦に「更新手続きですか」と声をかけてきました。途端に夫は制服の案内人にペコペコお辞儀をしました。嘆息しつつ食堂へ戻った私は、テレビから流れるニュースに目がとまりました。「今日は国際女性の日です」。難民調査に挑むイラン人女性にも、夫に怒鳴られるままの妻にも、そして私にも。幸あれ、国際女性の日。(文 シナピス事務局 ビスカルド篤子)

## 仁川教会修道院火災



全焼した木造の修道院



鐘塔はススで真っ黒

3月6日、仁川教会敷地内にある修道院建物で火災があった。修道院は全焼したが、幸いけが人はなく、聖堂や信徒会館など他の建物への類焼もなかった。教会へのお見舞いや協力は、しばらく対応することが困難なので、それぞれのお祈りにお留めいただきたい。【写真：仁川教会信徒】

## スペイン外国宣教会司祭

### フスト・セグラ神父(89歳)帰天



フスト・セグラ神父は3月5日、呼吸不全のため、姫路聖マリア病院で帰天。長年現場での司牧活動を大切にされ、大阪教区では神学生養成にも携わった。幾度か生死をさまよう大病をされたが、その都度、奇跡的に回復し現場復帰された。宣教の熱意あふれる神父であった。

【略歴】 1933年5月14日、スペイン生まれ。58年7月に司祭叙階後、母国とアメリカで宣教活動。63年に来日。2年の日本語研修の後、甲子園で助任。66年、高松教区で司牧。89年、甲子園主任。95年、99年、布施主任。99年、2002年、かわちブロック共同宣教司牧。その後、2011年まで神戸西ブロック共同宣教司牧。2012年、2016年、ピアンネ館に居住しながら教区志願者養成協力司祭。2016年、2020年、聖ビンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会チャプレンを務めた後、仁豊野ヴィラにて療養。

## 訃報

Sr ビルジッタ小池悦子(愛徳カルメル修道会)は、1月29日、老衰のため帰天。85歳。兵庫県出身。奉献生活62年。



1964年初誓願後、愛徳学園小学校で長きにわたり教職に携わっていた。いつも笑顔で子どもたちと関わり、信仰教育にあたった。東京大司教館や門真幼稚園での事務職、院内での仕事に奉仕した。いつもこやかに人と接し、真面目な優しい人柄であった。ご聖体に対する信仰が深く、晩年はその姿から感謝

と喜びが伝わってきた。聖ドミニコの娘らしく周囲に光を輝かせ生涯を全うした。

Sr マリア・ロレット阿部良子(聖ドミニコ宣教師女会)は、1月30日、消化管出血のため帰天。88歳。愛媛県出身。奉献生活59年。



1963年10月初誓願後、愛知県岡崎市での幼児教育の使徒職をはじめ、他県においても教諭、園長職を含め38年間務めた。何よりも子どもが大好きで、幼児の心を巧みに捉え宣教に励んだ。ユーモアある優しさで園児や保護者にも大変慕われていた。共同体では、オルガニスタとして心を込めて典礼奉仕し、

大阪教区司祭 上田憲神父の母、ウイニフレッド上田メリーさんは2月16日、心筋梗塞のため帰天した。79歳。

大阪教区司祭 高橋聡神父の母、小さきテレジア高橋幸枝さんは2月17日、老衰のため帰天した。95歳。



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

**教区委員会主催**

**信仰養成連続講座◆カテキズムの第2編「キリスト教の神秘を祝う」**  
**日時** 4/27(木)18:30~20:00  
**講師** 酒井俊弘補佐司教  
**場所** サクラファミリア /YouTube配信あり  
**問** ☎06-6941-9700  
**主催** 使徒職養成委員会

**2023年度第1回諸宗教活動◆仏教徒との対話:禅寺訪問**  
**内容** お寺を訪問し住職に出会い、禅について学ぶ  
**日時** 4/29(土・祝)午後  
**詳細** 近日中にお知らせします小教区送付チラシ・ホームページ参照  
**問** ☎06-6941-9700  
✉ird-ecm@osaka.catholic.jp  
**主催** 諸宗教対話委員会

**サクラファミリア主催**

**聞かせてください 神さまと出会った時のこと〜エマオへの道で〜◆大阪教区で働く司祭・修道者ご自身の体験をきく**  
**日時** 4/25(火)18:00~19:30 (夜の部)・4/26(水)10:30~12:00(昼の部)※両日とも同じ内容となります  
**おはなし** ベスコ・フラビオ神父

**コレーン神父と学ぶ聖書◆マルコ福音書におけるイエスと共に〜十二使徒の姿と歩み〜**

**日時** 第2(月)13:30~15:00 (1~4月開講)  
**参加費** ¥500

**「新生の明日を求めて」読書会◆大阪教区のシノダリティ(ともに歩む)の原点を確認しよう**  
**日時** 毎週(月)(第2は休み)14:00~15:30  
**担当** 松浦信行神父

**聖書通読会◆聖書のダイナミックな流れが感じられます**  
**日時** 毎週(木)10:00~11:30  
**担当** 松浦信行神父

**「YOUCAT(青年向けカテキズム)」勉強会◆老いても若きも、キリスト教を理解しよう**  
**日時** 毎週(金)19:00~20:00  
**担当** 松浦信行神父

**祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を**  
**日時** 毎月17日 19:00~19:30  
**問** サクラファミリア ☎06-6225-8871  
✉f.sacra@osaka.catholic.jp

**結婚準備講座**

**夙川教会**  
**日時** 次回6/3(土)~6/24(土)4回 16:30~18:00  
**参加費** ¥5,000(2名)  
**問** ☎0798-22-1649

**六甲教会**

**日時** 次回9/3(日)~9/24(日)4回 14:00~16:00  
**参加費** ¥5,000(2名)  
**問** ☎078-851-2846  
✉renraku@rokko-catholic.jp  
※事前要問合せ(年2回)

**黙想会**

**宝塚黙想の家**  
**◆日帰り黙想会**  
**日時** 4/27(木)・4/28(金)10:00~15:30  
**指導** 染野治雄神父(4/27)山内十束神父(4/28)  
**参加費** ¥3,500

**◆一泊黙想会**  
**日時** 4/20(木)17:00~4/21(金)15:30  
**指導** 染野治雄神父  
**参加費** ¥9,000

**◆聖地エルサレムを学ぶ**  
**日時** 第2(木)10:00~12:00 ※4月から第2に変更  
**指導** 笹田六合豊修道士  
**参加費** ¥1,000

**◆ギリシャ語で味わう聖書のこぼれ**  
**日時** 今月は休講  
**指導** 稲葉善章神父

**◆カトリック教会のカテキズム**  
**日時** 第2・4(水)10:00~12:00  
**指導** 染野治雄神父  
**参加費** ¥1,000

**◆祈りを深めるための聖書の基本**  
**日時** 第1・3(水)10:00~12:00  
**指導** 山内十束神父  
**参加費** ¥1,000

**問** 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

**講座・研修会**

**講座 本田哲郎神父◆小さくされた人々のための福音**

**日時** 毎月第3(金)10:00  
**場所** 神戸学生青年センター  
**参加費** ¥1,000  
**問** 岩村 ☎070-5045-7127  
**主催** 神戸国際支縁機構

**日本カテキスタ会◆第3回「大阪カテキズムを学ぶ会」第二編「信仰の神秘」**  
**講師** 高見三明名誉大司教(長崎教区)  
**日時** 4/20(木)13:00~16:00  
**場所** サクラファミリア  
**参加費** 今回2単位¥1,000  
**問** 日本カテキスタ会事務局 ☎090-3865-8010  
✉nckkate@gmail.com

**集い**

**シナピス主催◆オンライン祈りの集い~世界平和のために祈ろう~**  
**日時** 毎月第2木曜日 20:30から30分  
**テーマ** こどものために祈る  
**参加方法** Zoom(100名まで参加可能)Zoomミーティング  
**ID**: 761 071 2034  
**パスコード**: 123456  
**主催** 社会活動センター・シナピス  
**問** ☎06-6942-1784  
☎06-6920-2203  
✉sinapis@osaka.catholic.jp  
**HP** https://sinapis.osaka.catholic.jp/

**大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15~35歳までの若者の集い**  
**日時** 第4(土)14:00~16:00  
**場所** 大阪YCWセンター(またはZoom)  
**問** レネ神父・水元 ☎072-232-8063  
✉osakaycw@gmail.com  
**HP** http://www.ycw.jp/

**要約筆記グループ「エッファタ!」練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア**  
**対象** 要約筆記に関心のある方。

フリーソフトcaptiOnlineを使いパソコンまたはスマホで練習します。  
**日時** 毎月第2(水)10:00~12:00  
**場所** 教区本部事務局1階会議室  
**問** 障がい者委員会  
✉dis@osaka.catholic.jp  
**主催** 要約筆記グループ「エッファタ!」

**精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い**  
守秘義務と分かち合いいつ来てもウェルカム当日キャンセルOK  
**日時** 毎月第3(日)14:00~16:00  
**場所** 姫里集会所  
**参加費** 無料(12月のクリスマス会だけ実費)  
**申込** 吉川まで  
**問** ☎078-583-2525  
✉yassan.yoshikawa@nifty.com

**力障連大阪フレンドリー◆点字部の勉強会**  
**対象** パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方  
**日時** 奇数月第2(火)13:30~15:00  
**場所** 姫里集会所  
**申込** 笠松まで  
**問** ☎090-5661-4324  
☎072-722-0271  
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

**マザー・テレサ共労者の集い**  
**日時** 第1(土)14:00  
**場所** 大阪梅田教会  
**問** 高塚 ☎06-6921-0693  
**姫路・加古川・六甲教会はコロナ禍が収まり次第再開**

**マリッジエンカウンターウィークエンド◆婚姻の秘跡を生き生きと生きる**  
**対象** 夫婦・司祭・修道者  
**日時** 5/3(水・祝)~5/5(金・祝)  
**場所** 聖ヨハネ病院修道会(神戸)  
**参加費** 自由献金  
**申込** 平尾まで  
**問** ☎078-991-5220

**WYDリスボン大会2023 公式日本巡礼団**  
マリアは出かけて急いで山里に向かった(ルカ1・39)  
**年齢** 18~35歳  
**参加費** 45万円(予定)  
**日程** 4/20頃  
①17日間コース: 7/25~8/10  
②15日間コース: 7/26~8/9  
詳細とオンライン申込 ▶

**案内・報告**  
**主日ミサ時間変更**  
【串本教会】  
▽11時半  
【新宮教会】  
▽9時  
※復活の主日(4月9日)から9月24日まで。

**4月司教予定**  
(下記「行事等日程」以外)  
・6~9日 聖週間 御坊教会(+M)  
・6~9日 聖週間 玉造教会(+S)  
・10~19日 オプス・デイ総会 ローマ本部(+S)  
・15日 神戸バイブルハウス20周年記念(+M)  
・16日 夙川ブロック堅信式 芦屋教会(+M)  
・23日 千里NT教会 50周年記念(+M)  
+M = 前田万葉大司教 +S = 酒井俊弘補佐司教

行事等日程			
4月		13木	〔常任司教委員会〕
2日	受難の主日(枝の主日)	16日	神のいつくしみの主日
5水	11時 聖香油ミサ 司祭ダイヤモンド・金祝	19水	13時半 第198回 司祭評議会
6木	聖木曜日(主の晩さん)	26水	10時 顧問会 (5月分繰上)
7金	聖金曜日(主の受難、大斎・小斎) 聖地のための献金	30日	世界召命祈願の日
5月			
8土	聖土曜日	11木	〔常任司教委員会〕
9日	復活の主日	14日	世界広報の日(献金)

**編集後記**  
神戸バイブル・ハウスをご存じでしょうか? JR三ノ宮駅から南に下った、神戸市立磯上体育館の近くにあります。日本で唯一の聖書図書館で、各国語の聖書や希少な聖書も所蔵しています。キリスト教のさまざまな教派が運営を支えています。聖書に関する講座なども活発に行われています。▼そして、今年、設立から20周年を迎えることになりました。15日には、神戸栄光教会で記念式典が行われ、前田万葉樞機卿のあいさつも予定されています。▼私は副理事長を拝命しておりますが、正直に告白すると、それまで一回も訪問したことがなかったのです。しかし、書架や展示を見ると、聖書について新しい発見がありました。(広報委員会 川柳裕明)